

# 高い発症率 治療体制整備へ

女性のがんで最も多い乳がん。このうち5〜10%は、特定の遺伝子に変異があり、2分の1の確率で子に引き継がれる「遺伝性乳がん・卵巣がん(HBOC)」とされる。日本乳癌学会などは、HBOCの患者に必要な医療が提供されるよう、診療体制の整備に着手した。(佐々木栄)

## 女性に多い遺伝性のがん

遺伝性乳がん・卵巣がんは、BRCA1、2という遺伝子に変異がある。生涯のうち乳がんを発症する可能性は40〜90%、卵巣がんは10〜60%と高い。乳がん発症者は、反対側の乳房にもがんがで

る確率は40〜60%に上る。血縁者に乳がんや卵巣がんの患者が複数いれば、HBOCの可能性もあり、遺伝カウンセリングや遺伝子検査が検討される。HBOCの乳がんは、40歳未満の若年発症で、ホルモン治療も「HER2」というたんぱく質に作用する分子標的薬も効かない「トリプルネガティブ」と呼ばれるタイプが多く、がんの増殖が速い。抗がん剤で治療するが、他の乳がんよりも効く傾向がある。米国の人気女優、アンジェリーナ・ジョリーさんが、未

発症の時点で両側の乳房と卵巣の予防切除などの体制が整った可能な病院は14か所だった。日本では、がんを発症するリスクが高くても、予防的手術の実施は保険で認められておらず、いずれも自己負担だ。そこで現実的には、乳房や卵巣の定期検査を受けている人が多い。乳房のMRI(磁気共鳴画像)、膈内から撮影する超音波などで異常がないか調べる。HBOCと判明すれば血縁者にも影響があるため、遺伝カウンセリングを受け、対応を慎重に判断する必要がある。ただ、相談に応じる臨床遺伝専門医や遺伝カウンセリングは不足している。アンケートでは、遺伝カウンセリング体制が整った病院は18か所だった。同学会などは今年、「日本

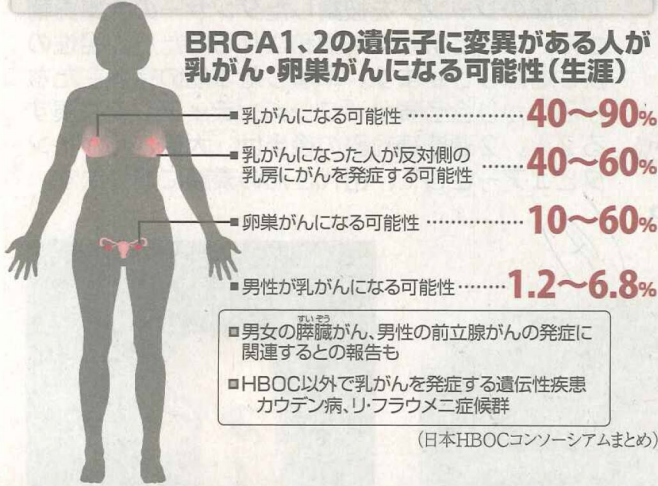
読売新聞が今春、全国の医療機関に行ったアンケート(691病院が回答)では、遺伝カウンセリングや乳房・卵巣の予防切除などの体制が整った可能な病院は14か所だった。日本では、がんを発症するリスクが高くても、予防的手術の実施は保険で認められておらず、いずれも自己負担だ。そこで現実的には、乳房や卵巣の定期検査を受けている人が多い。乳房のMRI(磁気共鳴画像)、膈内から撮影する超音波などで異常がないか調べる。HBOCと判明すれば血縁者にも影響があるため、遺伝カウンセリングを受け、対応を慎重に判断する必要がある。ただ、相談に応じる臨床遺伝専門医や遺伝カウンセリングは不足している。アンケートでは、遺伝カウンセリング体制が整った病院は18か所だった。同学会などは今年、「日本

これにより、遺伝カウンセリングができない医療機関でHBOCが判明した場合、基幹施設に紹介する流れが明確になる。遺伝子検査の結果をデータベースに登録する事業も進んでおり、日本人の症例の研究に生かすことが期待される。同機構理事長で昭和大学乳癌外科教授の中村清吾さんは「治療を受けやすい体制を整備し、治療や検査の保険適用や診療指針の作成につなげた」と話す。

## 遺伝性乳がん・卵巣がん(HBOC)

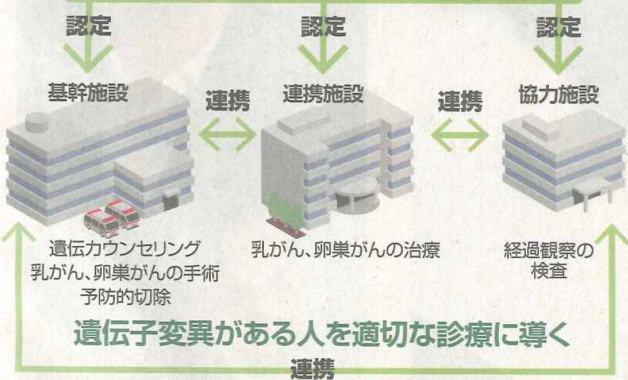
乳がん患者のうち5〜10%は、BRCA1、2という遺伝子に変異がある遺伝性乳がん・卵巣がん(HBOC)とされる。40歳未満での若年発症や、血縁者の間で乳がん、卵巣がんが多発している場合は、遺伝カウンセリングや遺伝子検査を受けることが検討される

### BRCA1、2の遺伝子に変異がある人が乳がん・卵巣がんになる可能性(生涯)



## 遺伝性乳がん・卵巣がんの診療体制

### 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構



### HBOCの診療体制が整った医療機関

北海道	北海道がんセンター
福島県	星総合病院
千葉県	聖隷佐倉市民病院
	亀田総合病院
東京都	ナグモクリニック
	聖路加国際病院
	がん研有明病院
神奈川県	神奈川県立がんセンター
静岡県	聖隷三方原病院
愛知県	名古屋市立大学病院
大阪府	北野病院
兵庫県	関西労災病院
愛媛県	四国がんセンター
鹿児島県	相良病院

- 乳癌専門医が常勤
- 遺伝カウンセリング体制整備
- HBOCの遺伝子検査実施
- 発症前の反対側の乳房の予防切除、未発症の乳房の予防切除、卵管卵巣の予防切除を実施

(読売新聞の全国アンケート「病院の実力」より)

作図 デザイン部 関野朝子